

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	①県民一人ひとりの健康づくり活動の定着
			施策の小項目名	○健康づくりに関する正しい知識の普及啓発等の実施
主な取組	健康増進計画推進事業		対応する成果指標	健康寿命
施策の方向	・日常生活における継続的な健康づくりに向けて、県民一人ひとりが健康の大切さを自覚して行動することを促すため、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本県は生活習慣の改善が喫緊の課題となっている。健康長寿復活のため、県民一体の健康づくり活動を進めていくため健康増進計画に基づき、食生活や運動、タバコ、飲酒などの6分野で目標指標を設定し取り組んでいく。健康増進計画が未策定の自治体については策定を促す。	県,市町村	市町村健康増進計画の策定支援		
		健康増進計画策定市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL
				http://www.kenko-okinawa21.jp

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	健康増進計画推進事業			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
県単等	直接実施	12,163	14,239	
令和7年度活動内容				
健康おきなわ2 1（第3次）計画策定および推進協議会開催、市町村健康増進計画策定・推進の支援、歯科口腔保健啓発月間における普及啓発を行った。				

(単位：千円)

予算事業名	健康増進計画推進事業費		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	18,060	
令和8年度活動計画			
健康おきなわ2 1（第3次）計画策定および推進協議会開催、市町村健康増進計画策定・推進の支援、歯科口腔保健啓発月間における普及啓発を行う。			

活動指標名	健康増進計画策定市町村数（内訳）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	38市町村	41市町村	92.7%	順調	①県健康増進計画に基づく事業の実施、推進協議会の開催 ②市町村健康増進計画策定済市町村数および同計画に基づく取組推進の支援 ③歯科口腔保健啓発月間における普及啓発事業の実施

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
健康増進計画未策定自治体があるものの、計画策定の研修会開催や、各保健所で計画策定に向けた指導助言を実施している。目標41市町村に対し実績38市町村（達成率92%）だったことから、「順調」と判断した。歯科口腔保健啓発月間における普及啓発や関係団体と連携した健康づくり事業の実施、健康おきなわ21推進協議会で進捗評価体制を検討するなど、健康長寿おきなわ復活に向けて官民一体となって取り組んでいる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○県計画の進捗評価に沿って保健所毎に市町村の取組を整理し、市町村計画と一体となった取組促進につなげる。また、健康増進計画未策定自治体の計画策定支援を引き続き実施する。 ○県計画の進捗評価に沿って県や市町村、関係団体の取組を整理し、関係団体と一体となった取組促進につなげる。	○県健康増進計画の概要や重点的に取り組む事項について、外部講師を招いて研修会を実施したほか、健康増進計画未策定自治体の計画策定支援を実施した。 ○策定した県計画の実効性を高め、市町村計画と一体となった取組促進を図るため、県計画の進捗評価体制の見直しを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 (改善余地の検証等)	健康増進計画未策定の自治体は、職員数や予算規模が小さい等の理由により優先課題の整理や検討にとどまっている。保健所による市町村支援体制を強化する必要がある。	② 連携の強化・改善	県計画の進捗評価に沿って保健所毎に市町村取組を整理し、市町村と一体となった取組促進につなげるため、圏域別研修会を開催する。また、健康増進計画未策定自治体の策定支援を引き続き実施する。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	地域、職業、経済力、世帯構成等に起因する生活習慣の差が県民の健康に影響を与えており、県民各人の健康に差が生じている。保健所毎の課題に応じた取組を強化する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	県計画の進捗評価に沿って県や市町村、関係団体の取組を整理し、関係団体と一体となった取組促進につなげるため、地域診断や施策の改善を検討する研修会を開催する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	①県民一人ひとりの健康づくり活動の定着
			施策の小項目名	○子どもから高齢者まで各世代に向けた食に関する啓発・指導の実施
主な取組	食育推進事業費		対応する成果指標	健康寿命
施策の方向	・食育については、県民一人ひとりが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、子どもから高齢者まで各世代に向けた食に関する啓発・指導を行うなど県民運動としての取組強化を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
食に関する啓発・指導を推進するため、第4次沖縄県食育推進計画を策定し、同計画に基づく施策を展開する。 ☐ ☐	県	第4次沖縄県食育推進計画に基づく施策の推進	第4次食育推進計画に基づく施策の推進、次期計画の策定	第5次食育推進計画(仮称)に基づく施策の推進
		食育推進本部の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	食育推進事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
県単等	委託	3,646	2,515
令和7年度活動内容			
・第4次沖縄県食育推進計画に基づき食育を総合的に推進した。□			

(単位：千円)		
予算事業名	食育推進事業費	
R8年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	9,306
令和8年度活動計画		
・第4次沖縄県食育推進計画に基づき食育を総合的に推進するとともに、次期計画を策定する。□		

活動指標名	食育推進本部の開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	0回	1回	0.0%	未着手	イベント等でのパネル展示や体験プログラムの提供により、食育の必要性等について、普及啓発を行った。食育推進本部は未開催となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

食育推進本部の開催回数について、目標1回に対し実績0回だったことから、「未着手」と判定した。沖縄県で初の開催となる全国食生活改善大会・全国食生活改善推進員協議会大会の対応があったためであり、当該大会の開催により、食生活改善推進員の活動の活性化を通して、食を通じた健康づくりに寄与した。□

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○実施計画（中期）においては活動指標を見直し、庁内連携会議である食育推進本部の開催回数を指標とする。関係部局の各施策の連携を強化し、県民運動として食育を推進する。 ○地域や家庭での食育が推進されるよう、取組事例を収集し広報に活用するなど、戦略的な情報発信に取り組む。	活動指標を見直し、食育推進本部の開催回数を指標とした。 地域や家庭での食育が推進されるよう、取組事例を収集し広報に活用した。

様式 1 （主な取組）



3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	現行計画が今年度までとなっていることから、社会情勢の変化や目標値の達成状況等を踏まえ、次期計画を策定する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	施策展開に必要な基礎資料として、食育に関する意識調査等を実施し、現状把握や課題を分析する。また、その結果を次期計画に反映させることで、本県の特性を活かした食育を総合的に推進していく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	健康増進事業等推進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
市町村が実施する健康増進事業を補助することで、壮年期からの健康づくりと、脳卒中、心臓病等の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図り、住民の健康増進を図る。	県,市町村	市町村が実施する健康増進事業に対し補助を行い、壮年期からの健康づくりと、脳卒中、心臓病等の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療による住民の健康増進		
		補助市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	—

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		健康増進事業等推進事業費		予算事業名		健康増進事業等推進事業費	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
各省計上	補助	42,820	47,320	各省計上	補助	53,812	

- 7 -

様式1（主な取組）

令和7年度活動内容			令和8年度活動計画				
市町村の健康増進事業実施に対して補助および支援することで、実施事業の充実を図った。			市町村の健康増進事業実施に対して補助および支援することで、実施事業の充実を図る。				
活動指標名	補助市町村数（内訳）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	41市町村	41市町村	100.0%	順調	41市町村が実施する健康増進事業（健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導）に要する費用を補助する（負担割合は国・県・市町村が1/3ずつ、肝炎ウィルス検診の受診者負担相当額は国全額補助）
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
事業の実施に努めた結果、県内全41市町村において健康増進事業が実施され、県民の健康増進に寄与した。							
(2)これまでの改善案の反映状況							
令和7年度 of 取組改善案				反映状況			
○健康診査の受信者数等、事業の実施状況を定期的に報告してもらうことで、必要としている市町村へ適切な補助が行えるよう努める。 ○報告様式の記入例の記載をする。また、各市町村からの疑問があればすばやく対応し、ほか市町村に事例を共有できるよう努める。				○各市町村の事例をほか市町村に情報提供することで、実施項目の拡大を促した。 ○事業の実施状況を定期的に報告してもらい、全市町村が適切な補助を受けられるよう努めた。 ○各市町村からの疑問にすばやく対処し、全市町村が適切な補助を受けられるよう支援した。			



様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	市町村の実績が見込を下回ることによって、補助金の過大交付が生じ、適切な補助への妨げとなっている。	② 連携の強化・改善	健康診査の受診者数等、事業の実施状況を定期的に報告してもらうことで、過大交付を防ぎ、適切な補助につながる。
② 他の実施主体の状況（内部要因）	データの不備が引き続きあるため、さらなる報告様式の改善、補足説明等を行う必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	報告様式の改善を図る。また、各市町村からの疑問にすばやく対処し、ほか市町村に事例を共有することで、適切な補助に努める。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	生活習慣病予防対策事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
イベント、セミナー等による普及啓発	県	各種イベント等での健康情報の発信		
		イベント・セミナー等の開催・出展数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL
				—

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	生活習慣病予防対策事業			予算事業名	生活習慣病予防対策事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	32, 277	31, 651		一括交付金 (ソフト)	委託	31, 654

様式1（主な取組）

令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
健康経営支援モデル創出（2団体）、職場での健康教室（8件）、運動促進イベント開催（1回）、普及啓発イベント開催出展（4回）						健康経営支援モデル創出（2団体）、職場での健康教室（20件）、運動促進イベント開催（1回）、普及啓発イベント開催出展（4回）	
活動指標名	イベント・セミナー等の開催・出展数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		・啓発イベント「うりずんフェスタ」の開催、各種集客イベントへの出展等
	—	—	4回	4回	100.0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
・イベント・セミナー等の開催数について、目標4回に対し、実績4回だったことから、「順調」と判定した。							
(2)これまでの改善案の反映状況							
令和7年度 of 取組改善案				反映状況			
〇働き手不足の社会情勢も受け、健康経営は人材確保の手段として注目されている。これまで健康経営に取り組めていなかった企業に対して商工会や業界団体等を通して働きかけ、健康経営の実践につなげていく。				健康経営推進団体（商工会等）の交流会を初めて開催し、各団体の抱える課題や先進事例が情報交換され、各団体の会員企業に対する健康経営推進のノウハウが共有された。			



様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	県民全体の健康状態の改善のためには、県内事業者の大多数を占める中小企業へ働きかけ、健康経営の取組を普及・浸透させる必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	中小企業での健康経営の取組を普及・浸透させるため、地域や業種の特性を踏まえ、より身近で具体的な実践例や健康経営に取り組む利点の紹介、各種情報発信を通じた機運の醸成に取り組む。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	糖尿病予防戦略事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の発症を予防するために、生活習慣を改善し、適切な食生活の実践に結びつけるための環境整備	県	自然に健康になれる食環境整備を目指し、糖尿病をはじめとした生活習慣病予防を推進する。		
		食deがんじゅう応援店の新規登録店舗数		
		5店舗	5店舗(10店舗)	5店舗(15店舗)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL
				—

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康増進計画推進事業（糖尿病予防戦略事業）			予算事業名	健康増進計画推進事業（糖尿病予防戦略事業）	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	直接実施	402	433	各省計上	直接実施	424

様式 1（主な取組）

令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
「食deがんじゅう応援店」を推進するため、事業者向けのチラシ3種作成し登録を呼びかけた。市町村と連携して周知広報や登録候補店の調整を行った。						自然に健康になれる食環境整備として「食deがんじゅう応援店」を推進する。スーパー等の中食事業者および、市町村事業との連携を深めていく。	
活動指標名	食deがんじゅう応援店の新規登録店舗数		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B		①飲食店や弁当販売店等の登録推進（店舗訪問、関係機関等を通じた事業周知） ②企画・評価委員会の開催（事業推進方法の検討） ③登録店の活用促進に向けた周知広報（パネル展、X等での広報）
	—	—	15店舗	5店舗	100.0%	順調	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
新規登録店舗数が目標値5店舗を超えていたことから、「順調」と判断した。							
(2)これまでの改善案の反映状況							
令和7年度 of 取組改善案					反映状況		
○市町村事業との連携が行えるよう、該当市町村および管轄保健所との調整を要する。 ○企業の本店等への取組等によりチェーン店の登録を増加させることにより、店舗数の増加が期待できる。					○市町村事業として取り組んでいる4市のうち、各市町村との連携の意図などを共有し賛同いただいております、1市（那覇市）とは連携できた。残り3市とは連携できていないので、引き続き調整が必要である。 ○中食事業への登録推進のために県内小売事業者1社と登録に向けた調整したが、年度内の登録には至らなかった。 ○県版の体制構築にむけて栄養士向け研修会を開催し、産学連携事例および県の食環境整備の方向性を共有した。		



様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	県内複数の市町村にて食環境整備事業を実施しているが登録基準が異なるため、県と市町村両方の事業へ登録できるように調整が必要。	② 連携の強化・改善	独自で食環境整備事業を実施している市町村の登録基準や手順を確認し、県と市町村両方の事業へ登録できるような仕組みを整える。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	健康日本21（第三次）の目標として、「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブへ登録している都道府県数」が掲げられており、都道府県は登録に向け、産官学等が連携できる体制づくりを求められている。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	企業との連携等により、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等の中食事業者の登録を増加させることにより、店舗数の増加につなげる。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	がん検診の精度管理向上		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
市町村が検診機関に委託して実施するがん検診の精度管理を目的とした検診データやがん登録情報等の収集分析、関係者・専門家等から意見を聴取する協議会等の開催等。	県	指針に基づくがん検診実施体制の強化		
		生活習慣病検診管理協議会及び各がん検診分科会の開催回数(累計)		
		各1回	各1回(各2回)	各1回(各3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005229/1018587/index.html

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	がん検診充実強化促進事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
各省計上	委託	26,488	24,320
令和7年度活動内容			
検診機関におけるがん検診の実施体制調査、生活習慣病検診管理協議会の開催、がん登録事業を実施した。			

(単位：千円)		
予算事業名	がん検診充実強化促進事業	
R8年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	委託	30,149
令和8年度活動計画		
検診機関におけるがん検診の実施体制調査、生活習慣病検診管理協議会の開催、がん登録事業を実施する。		

活動指標名	生活習慣病検診管理協議会及び各がん検診分科会の開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	順調	協議会・各分科会を各1回開催し、がん検診を実施する市町村や検診機関の評価や助言等を行った。また、がん症例をデータベースに登録し、罹患率等の実態を分析し、効果的ながん対策の推進を図った。
	—	—	各1回	各1回	100.0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

協議会および分科会の開催については、目標各1回に対し、実績各1回だったことから「順調」と判定した。協議会等での検討を踏まえて行った市町村やがん検診実施機関への助言等により、効果的・効率的な実施と専門技術者の質の向上が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の実施改善案	反映状況
○ 県医師会と協力してがん検診の実態把握に努めるとともに、精度管理が不十分な検診機関等に対し、改善へ向けた指導助言、資質向上のための研修会を開催し、がん検診の精度管理向上を図る。	令和8年1月29日に開催した研修会において、課題解決の情報提供や、先進自治体の取組等を紹介し、市町村職員および検診機関担当者の体制強化を図った。また市町村単独で対応が難しい検診機関の精度管理については、県が委託した県医師会から、市町村および市町村委託検診機関に対し指導助言を行うなど、広域的に対応した。

様式 1 （主な取組）



3 取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	令和8年1月の研修会で精密検査結果報告ルート統一等、各種課題の共通認識が図れた。がん検診の更なる体制強化を図り精度管理を向上させるためには、検診機関と市町村の連携強化が重要である。



4 取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	検診機関と市町村の連携を強化しがん検診の質を向上させるためには、実施体制調査を継続して行い、精度管理が不十分な検診機関等に対する指導助言を行うとともに、連携強化を図るための研修会を開催する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○職場における健康づくり
主な取組	職場の健康力アップ推進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・働き盛り世代の生活習慣の改善や、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践することで、組織の活性化につなげていく職場における健康づくりの促進に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
働き盛りの世代（20歳～64歳）の死亡率を改善するため、生活習慣病の発症予防および重症化予防を目指し、職場における健康づくりの普及啓発を行う。	県関係団体	職場の健康づくりにかかる企画・立案から実践までの総合的な支援とフォローアップの実施		
		うちなー健康経営宣言事業所数（累計）		
		1,000事業所	1,000事業所 （2,000事業所）	1,000事業所 （3,000事業所）
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL —

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	職場の健康力アップ推進事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
県単等	委託	24,370	11,350
令和7年度活動内容			
・ 45社（延べ1,140名）に対して健康づくり支援等を行った。			

(単位：千円)		
予算事業名	職場の健康力アップ推進事業	
R8年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	27,595
令和8年度活動計画		
・ 35社以上に対する健康づくり支援等を行う。 ・ 高血圧対策の取組を新たに実施する。		

活動指標名	うちなー健康経営宣言事業所数 (累計)		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	2,241事業所	1,000事業所	100.0%	順調	・35社に対する健康づくり支援（新規スタートアップ支援25社、高血圧対策特化支援5社、計画策定支援5社）に加えて、スポット支援で10社を支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

うちなー健康経営宣言事業所数について、目標1,000件（累計）に対し実績2,241件（累計）だったことから、「順調」と判定した。
なお、単年度目標150件に対して、208件の実績であることから、単年度での目標も達成している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○「健康経営計画策定支援」の支援メニューについては、別な支援メニューへの変更を検討する。	令和7年度は、健康経営計画策定支援（プランニング支援）を「節酒支援」に変更し、適切な飲酒管理の支援を行った。

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	令和 6 年度に実施した「健康経営計画策定支援」を令和 7 年度は「節酒支援」に変更したところ好評であった。特に適正飲酒量を知っている割合と休肝日数が目に見えて増えた。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	令和 8 年度も継続して「節酒支援」を実施し、1 人でも多くの方に適正な飲酒の知識を広め、生活習慣病の予防に繋げていく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○県民の歯科保健意識の向上
主な取組	歯科保健に関する普及啓発		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・ 歯や口の健康づくりについては、乳幼児期・学齢期のむし歯予防や成人期・高齢期の歯周病予防並びに歯の喪失予防に向けた普及啓発を行い、80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」を広げ、県民の歯科保健意識の向上を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
歯科口腔保健に関する知識の普及およびむし歯や歯周病の具体的な予防方法を普及・定着させるために、出前講座を実施する。	県	歯科保健に関する健康教育の実施支援		
		講師派遣回数（累計）		
		30回	35回（65回）	40回（105回）
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kensei/kencho/1000011/1017827/1017830.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		歯科保健推進事業費			予算事業名		歯科保健推進事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額		R7年度 決算見込額	R8年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	委託	1,500		2,031	県単等	委託	2,640		
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画				
県内の地域子育て支援センター、乳児院、児童養護施設、障害者入所施設、健康づくり関連イベントでの歯科口腔保健に関する出前講座を実施した。					県内の地域子育て支援センター、乳児院、児童養護施設、障害者入所施設、放課後児童クラブ等での歯科口腔保健に関する出前講座の実施				
予算事業名		沖縄県口腔保健支援センター運営事業			予算事業名		沖縄県口腔保健支援センター運営事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額		R7年度 決算見込額	R8年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
各省計上	直接実施	4,528		4,086	各省計上	直接実施	5,142		
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画				
事業所、施設、集い等を対象に、歯っぴ～センター（沖縄県口腔保健支援センター）の職員による、歯と口の健康づくりに関する出前講座を実施した。					事業所、施設、集い等を対象に、歯っぴ～センター（沖縄県口腔保健支援センター）の職員による、歯と口の健康づくりに関する出前講座の実施。				

活動指標名	講師派遣回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		事業所、施設、集い等を対象に、歯っぴ～センター（沖縄県口腔保健支援センター）の職員による、歯と口の健康づくりに関する出前講座の実施。
	—	—	120回	30回	100.0%		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
講師派遣回数（累計）について、目標値30件に対し実績120件（達成割合100%）だったことから、「順調」と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○より多くの働き盛り世代向けの講座の開催ために、周知の伝え方や周知先等を検討する。	○イベント等を絡めながら働き盛り世代向けの講座周知を行ったが、開催数の増加には至らなかった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	引き続き、より多くの働き盛り世代向けの講座の開催ために、周知の伝え方や周知先等を検討する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	会議等において、団体の長等へ働き盛り世代向けの講座について案内する等、組織として講座開催を検討してもらう。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○県民の歯科保健意識の向上
主な取組	歯科保健に関する連携		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・ 歯や口の健康づくりについては、乳幼児期・学齢期のむし歯予防や成人期・高齢期の歯周病予防並びに歯の喪失予防に向けた普及啓発を行い、80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」を広げ、県民の歯科保健意識の向上を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的に、関係する団体等と情報共有および協議の場を設ける。	県	歯科保健に関する情報収集及び共有		
		歯科保健に関する連携会議等の開催回数（累計）		
		6回	6回（12回）	6回（18回）
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kensei/kencho/1000011/1017827/1017830.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		歯科保健推進事業費			予算事業名		歯科保健推進事業費	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
各省計上	—	6,863	8,254		各省計上	—	11,608	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康保持増進寄与を目的に、関係する団体等と情報共有および協議を開催した。					歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康保持増進寄与を目的に、関係する団体等と情報共有および協議を開催する。			
活動指標名	歯科保健に関する連携会議等の開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		概ね順調	歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康保持増進寄与を目的に、関係する団体等と情報共有および協議の開催した。
	—	—	5回	6回	83.3%			
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果								
歯科保健に関する連携会議等の開催回数について、目標6回に対し実績5回（達成割合83.3%）だったことから「概ね順調」と判定した。								
(2) これまでの改善案の反映状況								
令和7年度の取組改善案				反映状況				
正規採用の歯科専門職について、担当部署と調整するとともに、会議開催に向けて必要な調整等について、非正規採用の歯科専門職へのよりスムーズな共有やサポート体制を検討する。				○正規採用の歯科専門職を配置はできていないが、非正規採用の歯科専門職継続配置につながっている。 ○全保健所での会議開催はできなかったが、保健所担当者会議等において、各保健所の計画や地域の課題について共有している。				

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	会議を開催することについて、保健所ごとで体制状況や認識が異なっている。	① 執行体制の改善	サポート体制の充実を図るとともに、保健所と開催する意義や認識のすり合わせを行い、会議開催を促す。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援の実施
主な取組	たばこ対策促進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・ 飲酒や喫煙対策については、酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
喫煙の健康影響や受動喫煙防止対策についての普及啓発	県	喫煙の健康影響や受動喫煙防止対策についての普及啓発		
		世界禁煙デー・週間(5月)等での普及啓発回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/kenko/1006454/1006457.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	たばこ対策促進事業			予算事業名	たばこ対策促進事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
各省計上	直接実施	3,770	3,786	主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	直接実施	3,770	3,786	各省計上	直接実施	4,700
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
受動喫煙防止対策に取り組み、たばこに関する知識の普及啓発、禁煙支援を行った。				受動喫煙防止対策に取り組み、たばこに関する知識の普及啓発、禁煙支援を行う。		

活動指標名	世界禁煙デー・週間（5月）等 での普及啓発回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	1回	1回	100.0%	順調	喫煙の健康影響や受動喫煙対策についての普及啓発を行うため、特に「世界禁煙デー・週間」での取り組みを強化。リーフレットや啓発グッズの配布、食品衛生協会による飲食店調査等の機会を活用し周知を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「世界禁煙デー・週間」に合わせてパネル展の開催、リーフレットや啓発グッズの配布、食品衛生協会による飲食店調査等の機会を活用し、喫煙の健康影響や受動喫煙対策についての知識の普及啓発を行った。また、禁煙外来のある医療機関の診療時間等について健康長寿課のホームページに掲載し周知した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、普及啓発を行うとともに中高生へリーフレットの配布をするなど、若い世代に「最初の一本を吸わせない」ような取り組みを進める。 ○ 改正法に基づく受動喫煙対策について、県民や施設管理者に対し周知を図るとともに、受動喫煙の防止に関する相談等に対応する。	○ パネル展の開催などで喫煙の健康影響や受動喫煙対策の普及啓発を図り、特に若い世代の理解向上に向け、中高生向けのリーフレットを作成し配布した。また、県内すべての保健所・市町村へ普及啓発グッズの配布。 ○ 県民や施設管理者からの相談等に対応した。（管轄保健所実施分も含む。）

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	喫煙率は減少傾向であるが加熱式たばこ等の普及により、さらなる喫煙率の減少に向け、特に若い世代に「最初の一本を吸わせない」取組を推進する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、受動喫煙対策の普及啓発を行う。特に、中高生向けのリーフレットの配布等、若い世代への普及啓発を強化する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施 策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援の実施
主な取組	飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）
施策の方向	・ 飲酒や喫煙対策については、酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
生活習慣病のリスクを高める飲酒(1日あたりの純アルコール摂取量:男性40g以上、女性20g以上)をしている者の減少を目的に、飲酒の健康リスク等の普及啓発を行う。①働き盛り世代を対象とした職場での出前講座の実施。②節酒カレンダーアプリ(飲酒量を記録するモニタリングツール)の普及。	県,市町村	酒の健康影響に関する正しい知識の普及啓発		
		節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		
		男性50%、女性50%	男性50%、女性50%	男性50%、女性50%
担当部課【連絡先】	保健医療介護部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL https://alc.okinawa.jp/

様式 1 （主な取組）



2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	健康増進計画推進事業費（健康おきなわ2 1 推進費：アルコール対策事業、アルコールサイト保守委託料）		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
県単等	委託	1, 078	1, 078
令和7年度活動内容			
飲酒による健康への影響および健康に配慮した飲酒の方法について、働きざかり世代を対象に職場での出前講座を実施した。（20事業所）			

(単位：千円)			
予算事業名	健康増進計画推進事業費（健康おきなわ2 1 推進費：アルコール対策事業、アルコールサイト保守委託料）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	1, 096	
令和8年度活動計画			
職場での出前講座の実施（16事業所）内容：①健康教育（リスクを高める飲酒量等）②行動変容のための実践プログラム（アプリによる飲酒記録）			

様式1（主な取組）

活動指標名	節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		R7年度			進捗状況	活動概要 ①職場での出前講座の実施。（基準値R3：3事業所、実績値R7：15事業所、目標値R8：16事業所、R9：17事業所）②アプリの普及。※R7以降は「出前講座実施事業所数」を活動指標とし進捗管理を行う。	
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	—	—	0%	男性50%	0.0%			
活動指標名	節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		R7年度			順調		
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	—	—	0%	女性50%	0.0%			
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果								
「節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合」は出典の調査項目から削除されたため、令和7年度以降は「出前講座実施事業所数」を活動指標とする。令和7年度の目標値15事業所に対し実績値20事業所となったため、進捗状況は「順調」と判断。アプリは県広報誌や各団体（飲酒運転根絶県民運動、保険会社広報、県医師会等）と連携し周知。厚労省の健康日本21アクションプラン研修会にて好事例として取り上げられた。								
（2）これまでの改善案の反映状況								
令和7年度の取組改善案					反映状況			
○工業連合会等の組織を通して事業を周知する。また、周知方法（時期、媒体、ルート、ほか事業との連携等）を再検討する。 ○女性への普及啓発について、飲酒行動と女性が興味関心を持ちやすい内容（ライフステージ、体質、栄養：カロリー等）を検討する。また、女性の健康週間等の普及月間にて周知する。 ○節酒カレンダーアプリ及びサイトの保守運用を行い、タイムリーかつ継続的に飲酒の関する知識の普及を図る。					○工業連合会を含む健康経営宣言事業所等に幅広く周知した。また、周知方法として各団体のメーリングリストを活用することで小規模事業にももれなく周知ができた。 ○女性の健康週間にて普及啓発を行った。 ○節酒カレンダーアプリの保守をし、毎週アプリのプッシュ通知を利用し飲酒記録を継続できるようメッセージを配信した。			

様式 1（主な取組）



3 取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	●健康経営宣言事業所等を中心に、職場を通して出前講座とアプリを周知したことで、職員の健康づくりの一環として職場全体の取組みを推進できたと考える。
① 県の制度、執行体制（内部要因）	●男女ともに生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合は全国値を上回っており、特に男性の30代、50代で有意に高くなっているため継続して周知啓発を行う必要がある。



4 取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	●健康経営宣言事業所等に向けた事業の周知を継続する。また、出前講座の内容についても、知識のみではなく、実践（アプリによる飲酒記録の継続）を含めたより行動変更につながる内容を検討する。
① 執行体制の改善	●セルフケアやヘルスリテラシー向上の観点からも、飲酒行動について働きざかり世代が興味関心を持ちやすい内容（ライフステージ、体質、栄養：カロリー等）を検討し、健康週間等の普及月間にて周知する。